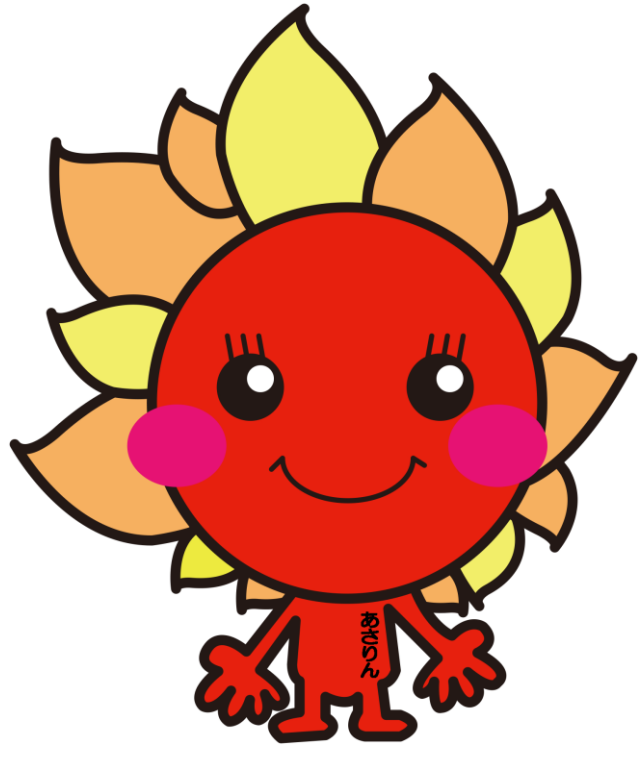
朝日地域コミュニティ運営委員会

集落説明会



朝日地域コミュニティ運営委員会とは

朝日地域の住民による
まちづくりの団体

目　的

◆朝日地域の住民が自ら地域の将来像を考え、その実現に向けて行動すること

◆地域が抱える課題を克服し、みんなが地域への愛着と誇りを持って、生き生きと安心して暮せる住みよいまちづくりに寄与すること

朝日地域の現状

H25.2.1現在

区　分	町全体		朝日地域	
面　積	152.96㎢		45.47㎢	30%
世帯数	7,259世帯		2,996世帯	41%
人　口	23,509人		9,583人	41%
高齢化率 H24.10.1	6,533人	27.7%	2,386人	24.8%

設立総会　平成24年3月28日

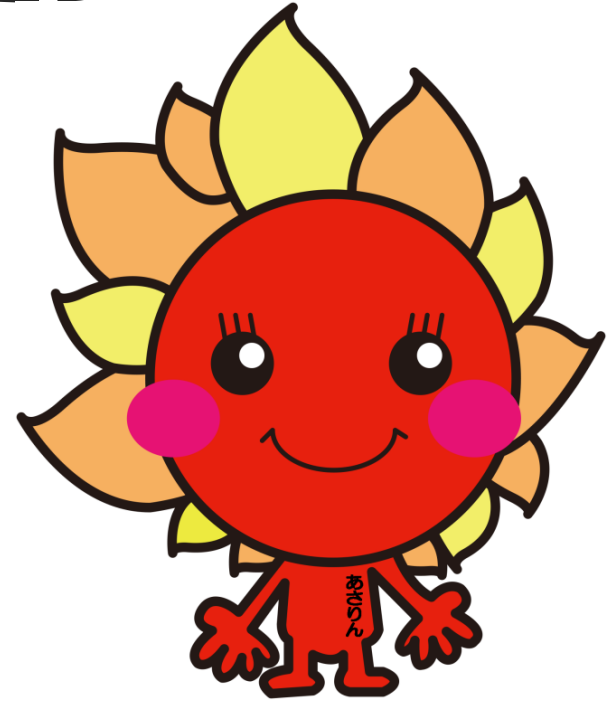
町生涯学習センター 2階会議室

愛称は・・

e-とこ朝日

マスコットキャラクター

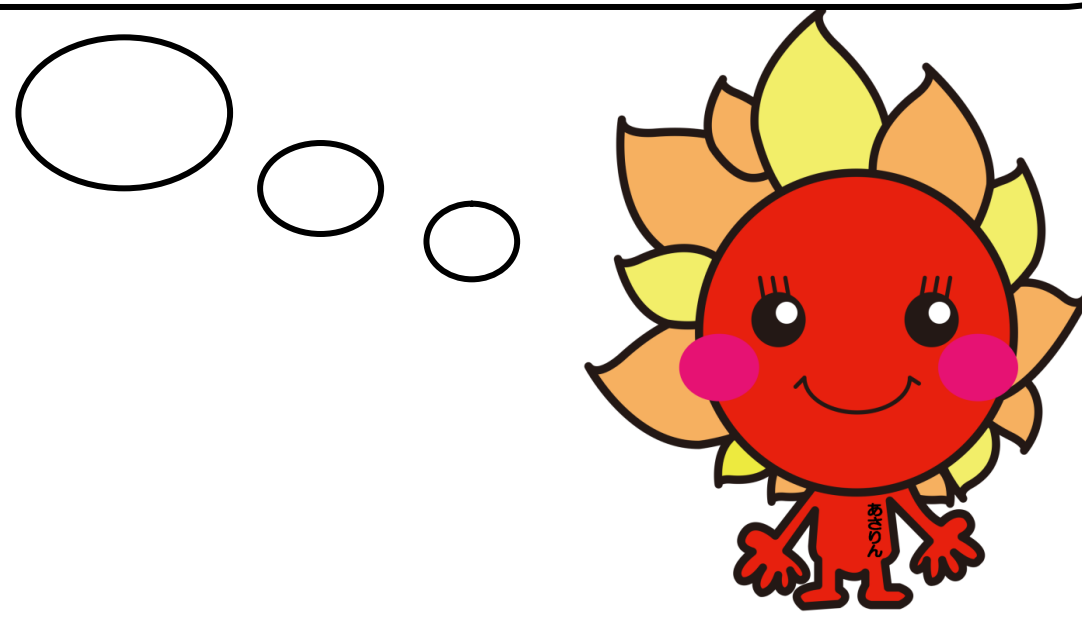
「あさりん」です♪



シンボルカラーはシグナルレッド

「e-とこ朝日」の「e」の意味

- ●エコロジー　環境にやさしい
- ●エマージェンシー　緊急時の防犯・防災
- ●エデュケーション　地域の人材を育成
- ●エンジョイ　楽しく参加



愛称誕生会　朝寿殿にて　　H24．12．23

老若男女でにぎわった客席

朝日地域コミュニティ運営委員会
役員

〇委 員 長 （1名）
〇副委員長（3名）
〇監　　事 （2名）
〇会　　計 （1名）
〇書　　記 （1名）
〇顧　　問 （1名）
〇区長委員（17名）
〇団体長委員（22名）

第1回役員会の様子　　H24．10．23

朝日地域コミュニティ地域振興計画素案ができるまで

●素案は公募による18名の企画部員より提案

●全10回の企画部会議を通して作成

●昨年4月、地元を知るために企画部員で大谷寺、朝日観音、八坂神社、プラントピア等の施設・文化財めぐりを実施

施設・文化財めぐりをする企画部員

H24．4．8

第4回企画部会議　　H24．7．9

第5回企画部会議　　H24．8．6

計画の期間

概ね10年後の朝日の将来像を創造し、
その実現に向けて様々な取り組みを行う

計画は状況の変化に適切に対応するため、
必要に応じて見直す

具体的実施策は専門部会で検討し、
直近3ヶ年の計画策定

将来像

「地域への愛着と誇りを持って、
いつまでも住みつづけたいまち　朝日」

スローガン

「ｅーとこ朝日」を創るためみんなで夢を耕そう

目標

✿自然と共生した緑と花の潤いのあるまちづくり

✿歴史・文化を守り、伝え、活かすまちづくり

✿子どもの健全な育成とみんなが健康なまちづくり

✿お互いに助け合い安全で安心して住めるまちづくり

✿地域の活力が芽生え、誰もが参加できる夢のある楽しいまちづくり

計画の樹立まで

企画部会　素案の作成

↓

役員会　素案の説明

↓

現在ここ

集落説明会　素案の説明→意見の聴取

↓

4月下旬　総会　計画の承認

↓

5月～　専門部会　事業の企画・調整・運営

朝日地域コミュニティ運営委員会
（愛称）e－とこ朝日

専　門　部　会

- 自然環境・産業部会
- 歴史文化部会
- 青少年育成部会
- ふれあい部会
- 安全安心部会

自然環境・産業部会

- 朝日の花を決め花による美しいまちづくり
- 花関連イベントの開催
- ホタルの里づくり
- 雪解けクリーン作戦
- 特産物の育成
- フルーツランド
- 地区民による創業・起業

歴史・文化部会

- 古墳公園周辺整備と
  イベントの活性化
- 仏像・文化財を活用した
  事業の推進
- 地区の歴史・文化の継承
- 幸若舞の伝承

青少年育成部会

- どんぐりからの森づくり
- 子ども英語キャンプ
- 子どもの社会性を楽しみながら育む
- 集落公民館利用による地域での子育て

ふれあい部会

- あさひまつりへの参加
- ボランティアによる
  まちづくり
- コンサート等の開催
- 若者の出会いの
  場づくり
- 地区の魅力の発信
- 交流の場づくり

安全安心部会

- 健康長寿地区の宣言
- 地区体育会の開催
- 認知症の予防
- 区内防災学習・訓練の実施
- 防災資機材の確保
- 街灯によるまちづくり

専門部会の進め方

４月

部会長･副部会長･書記の選任

↓

５月～

取り組む事業の順位づけ

平成25年度に実施する事業の
企画･事業計画･予算

↓

６月～
26年３月

事業の実施

なぜ今まちづくりか

◆地方分権・財政の厳しさにより、多種多様化する住民ニーズに応えられなくなってきている
◆合併により今までのような行政サービスを維持できない
◆少子高齢化、人口減少社会の到来
◆安心安全への意識の高まり
◆成熟の時代に、ものの豊かさから心の豊かさを求める時代
◆地域でできることは地域でしていく時代
◆子どもたちに朝日地域という素晴らしいところで育ったと感じてもらう
◆現状維持は後退